

日本学術会議・日本農芸化学会共同開催シンポジウム

新型コロナウイルスパンデミック下での 食糧問題に農芸化学分野が果たす役割

新型コロナウイルス感染の拡大は、世界中の家庭を巻き込む前例のない社会活動の停滞と経済危機を引き起こしています。また、食糧消費構造の急激な変化が引き起こされており、従来の枠組みや発想とは異なる新しい食糧の生産、加工、供給のための技術やシステムが必要とされています。

本シンポジウムは、新型コロナウイルスパンデミック下で食糧クライシスに陥らないために、農芸化学分野の研究者や企業がどのように関わっていくのかをテーマとしています。アカデミア、公的研究機関および産業界で長年にわたり研究や開発などに携わってきた講演者が、新型コロナパンデミックに対するこれまでの対応や今後の展望について自身の研究や開発および経験を踏まえて紹介すると共に、各界で今後求められる課題や目標などについて講演します。

令和3年
3/21 (日)

15:00 - 17:30



ZOOM開催

参加費無料

要事前登録

参加申込フォームに記入し登録していただきますと、ログイン情報をご連絡いたします。

開会の辞・概要説明・挨拶

15:00

熊谷 日登美 (日本大学教授・日本学術会議会員)
清水 誠 (東京大学名誉教授・東京農業大学客員教授・日本学術会議連携会員)

講演

- 「新たな時代における食の健康への貢献」 15:15
山本 (前田) 万里 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
食品研究部門ヘルスケア創出研究統括監)
- 「Covid-19パンデミックが食品メーカーに及ぼした影響とその対応策、
この環境下で農芸化学研究者に期待すること」 15:40
前鶴 俊哉 (株式会社コッパン代表取締役社長)
- 「調味料生産分野での役割」 16:05
北倉 芳久 (キッコーマン食品株式会社常務執行役員)
- 「新型コロナ禍から食品企業が学ぶべきこと」 16:35
秦 洋二 (月桂冠株式会社 専務取締役・製造本部長)
- 「これからのフードシステムの課題と新型コロナ感染症」 17:00
新山 陽子 (立命館大学教授)

座長

清水 誠 (東京大学名誉教授・東京農業大学客員教授・日本学術会議連携会員)
熊谷 仁 (共立女子大学教授)
熊谷 日登美 (日本大学教授・日本学術会議会員)
裏出 令子 (京都大学特任教授)

まとめ

裏出 令子 (京都大学特任教授)

17:25